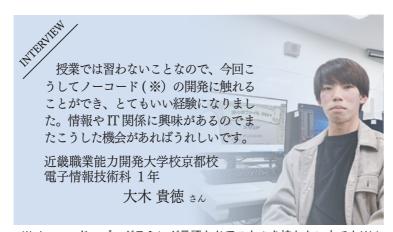


舞鶴市を拠点に I T人材の育成・雇用サイクルを回し、地域の活性化を目指す

「ITを活用した心が通う便利で心豊かな田舎暮らし」の実現

スフォ・ ジナルウェブ出願システムを完成させ、 ●インフォニックによる連続講座 た。今後は市内高校や舞鶴高専などでも 義を実施。学生それぞれが、 システムを作ってみようと全4回の講 続講座。座学だけでなく、実際にセ ニックの近畿能開大京都校学生への連 ――の世界に触れる機会を創出しま 連携協定締結で実現した、 分野に触れる機会を作ります。 スの画面を触ってウェブ出願 自分のオリ インフォ



した地域の活性化を目指します。 産用が実現しました。 今後もーT ●地元雇用

住希望者向けに求人を行う京都府U

/活動を行った結果、新たに2人の地元 ターンナビへの登録など、積極的に求

定の締結以降、舞鶴市やハローワ **鷭が主催する就職フェアへの出展や、**

-ク 舞

移

インフォニック舞鶴支社では、連携協

※ノーコード…プログラミング言語などITスキルを持たない人でもWeb 開発ができる手法



近畿能開大京都校 令和4年度 学生募集

【募集学科】生産技術科、電子情報技術科、デジタルサポートシステム科(新設)

【試験日(出願期間)】●1月29日出(1月24日月まで) ●2月3日州(1月26日州まで) ●3月15日州(3月9日州まで)

【その他】詳細は同校ホームページ(右コードからアクセス可)で。

【問い合わせ先】同校学務援助課学務係(☎75・7609)

ものづくり「たから者」育成奨学金

将来のまちを支える若者を「たから者」として支援し、地域産業における新たな担い手を育成・確保するため、舞 鶴市が修学に要する資金を貸与。卒業後、一定期間舞鶴市内で就業すれば、返還が免除になります。

【対象者】●近畿能開大京都校に在学し、学校長の推薦を受けた者

●卒業後、舞鶴市内で就業する意思を有する者

【貸与額】入校料と授業料を上限

【返還免除】卒業後、1年以内に舞鶴市内で就業し、1年間貸与を受けた学生は、1年6か月、2年間貸与を受けた学 生は3年間、引き続いて就業した場合

近畿能開大京都校・企業向けセミナー 「クラウドコンピューティングサービスの活用技術」

【日時】2月7日间・8日以9時~16時 【場所】近畿能開大京都校 【受講料】7,000円 【定員】先着15人 【内容】インフォニック㈱から講師を招き、クラウドサービス導入に興味のある事業者に対して、各種クラウドサービ スの種類や特徴、システムをクラウド化する際に考慮すべき事項やセキュリティ対策などを学ぶ

【問い合わせ先】同校(☎75・7609)

※市内中小企業者を対象に受講料の4分の3を補助する舞鶴市中小企業人材育成支援事業補助金が利用可。詳しく は産業創造・雇用促進課(☎66・1021)へ。



▲近畿能開大京都校で行われたインフォニックによる連続講座 オンラインでセールスフォースのエンジニアが、現地でインフォニックのエンジニアが指導

●連携協定の締結

活性化を目的とした連携協定を締結 業能力開発大学校京都校(以下、近畿能 コム、地域産業の人材育成を担う近畿職 提供する㈱セールスフォ 業であり、世界的にクラウドサ 合わせ、インフォニックのパ インフォニック㈱の舞鶴支社開設に ース・ドッ ビスを

-企業の誘致

開設することになりました。 企業のインフォニック㈱が舞鶴支社を 置き、ソフトウエア開発などを行うー 推進。昨年6月には、京都市内に本社を 若者に雇用機会を生み出す取り組みを でも仕事ができる企業を誘致することで、 ンとネットワーク環境さえあればどこ た大きな変化をチャンスと捉え、パソコ 市では、コロナ禍によってもたらされ

クライフバランスを実現できる地方へ のびのびとした環境の中、質の高いワ 感染リスクを避け、場所を選ばすに仕事 ●テレワークと社会の変化 みが大きく変わろうとしています。 の移住希望者が増えるなど、社会の仕組 新型コロナウイルス感染症の拡大で、 クが普及。自然豊かで 域企業のー 者に対するセミナー しています。

ができるテレワ

※DX(デジタルトランスフォ ゆる面でより良い方向に変化させること。 たな価値が創出され、 …デジタル化などー Tの浸透によって新 人々の生活をあら -メーション)

質糊市、近畿職業能力開発大学校京都校、インフォニック株式会社、株式会社セールスフォース・ドットコムとの IT人材の育成及び地域活性化を目的とした連携に関する協定締結式

で生まれ育った若者を、舞鶴にいながら 環境と就業機会を提供することで、舞鶴 大京都校の教室や設備を活用して、在職 ることを目指します。 この連携協定では、質の高い の世界で活躍ができる人材に育成 化・DX(※)の推進を目 を開催するなど、 近畿能開

2022 広報まいづる 1月号